

対話 こしかわ信一 後援会 援報

ちょうし

郷土に活力！対話する市政をめざして 銚子市立病院の健全な再生

公正公平な市政運営 で銚子の信頼回復！

昭和36年(1961年)、銚子に生を受け、銚子に育ち、地域新聞づくりを通してすばらしい人々と出会い、銚子の移り変わりを見てきました。青年会議所運動や商工会議所青年部活動にも参加し、信頼し合える仲間とまちづくりに取り組んできました。しかし銚子の人口は減り続け、子ども頃の活気は消え、私たち市民の気持ちも明るさを失ってきたように感じています。

「銚子が大好きです」と住み続けたい」「でも生活が苦しくて、このままでは食べていけない」「子どもたちが帰ってきたくても働く場所がない」「商売は自分の代で終わりでとあきらめている」「銚子の未来に希望が持てない」。それが市民の切実な叫びです。

衰退の一端を辿ってきた銚子の閉塞状況を打ち破り、郷土に夢と活力を取り戻さなければなりません。海と川に囲まれた銚子は、豊かな自然とバラエティに富んだ産業(なりわい)の宝庫です。そして何よりも温かいコミュニティがあり、郷土を愛する市民がいます。銚子の宝石をもう一度磨き直し、新しい風を吹き込み、夢と活力を取り戻すために、立ち上がる決意をいたしました。

公正公平な市政運営と対話を通じて銚子の信頼を回復し、銚子市立病院の「健全な」再生を図りたい。先頭に立つて医師招へいに動き、再生機構と一体となって経営改善に努力し、それによって生み出された財源で、住みやすい元気なまちづくりをめざしたい。みずからが主体となって本気でまちづくりに取り組みたいという人を応援し、地域振興を図りたい。

ともに、郷土に活力を取り戻してまいります。



生活観光都市へ！ 元気にまちおこし

住む人にとっていい町をつくるのが、観光客をひきつけ、真の観光振興につながる。市民生活そのものが最大の観光資源だという「生活観光都市」への転換が銚子の観光に求められています。

人の流れをつくる具体的展開としてまず、閉校となった学校跡地を活用して「銚子芸術家村」を作りたい。さらにNPO法人から提案された第一市場を中心とした「フィッシュマンズマーケット(漁師市場)」、利根かもめ大橋周辺の「ファーマーズマーケット(農家市場・スマーケット)」、この道の駅「川の駅」、この2つの拠点をつなぐ「水上バス(観光船)」の運行。銚子青年会議所が検討した「スポーツ合宿村」。この5つのプロジェクトにチャレンジしていきたい。

公正なディベロッパーの導入も含めて民間と行政の役割を区分し、日付と予算を入れながら、観光振興策として具体化させていきたいと考えます。

銚子の潜在的ホスピタリティを引き出す

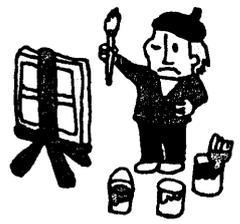
観光は文字通り、光を観(み)ること。人は、光を観た感動に対してお金を払うものです。いくら素晴らしい海や景観があっても、自然だけで人を感動させることは難し

い。感動を生み出すのは何と言っても「人」との出会いです。「また銚子に行きたい」と思えるような出会いこそが銚子の最大の観光資源です。銚子市民が潜在的に持っている温かい、優れたホスピタリティ(おもてなしの心)を磨き、引き出し

若き芸術家を育てるマチへ 閉校した学校 銚子芸術家村をつくらう を活用して

銚子は、古くから多くの文人・芸術家が訪れ、同時に育んできた町です。人と芸術を資源とした観光振興が「銚子芸術家村」です。NPOの提案をもとに、学校統合によって閉校となった学校を活用して、「銚子芸術家村」をつくりたい。観光と一体となった芸術のまちづくりに取り組みます。

芸術家村(アーティスト・プール)は、若手芸術家を育てる町です。



ていくことが観光振興の基本です。長い間受け継がれてきた確かな生活の形。それ自身が立派な観光資源だということを整理して浸透させていくことが求められます。

芸術家村では、常設展、個展・イベントが常時開催されていて、市民や観光客も作品や創作現場を見学できる。語り合うことができる。若き芸術家たちの創造のエネルギーをシャワーのように浴びながら交流する。作品を購入することもできます。

銚子芸術家は、滞在期間を5年間に設定します。芸術の各分野から若くて将来性豊かな人材を数名ずつ選抜して、無料で住まいとアトリエを提供します。油絵・日本画・彫刻・ガラス工芸・染色・オブジェなど様々な分野のアーティストに5年間、銚子芸術家村に定住してもらい、アーティストたちが互いに刺激し合い、銚子市民と交流しながら芸術作品を作る。そのうちいくつかを家賃代わりに市に納入してもらいます。市はその芸術作品

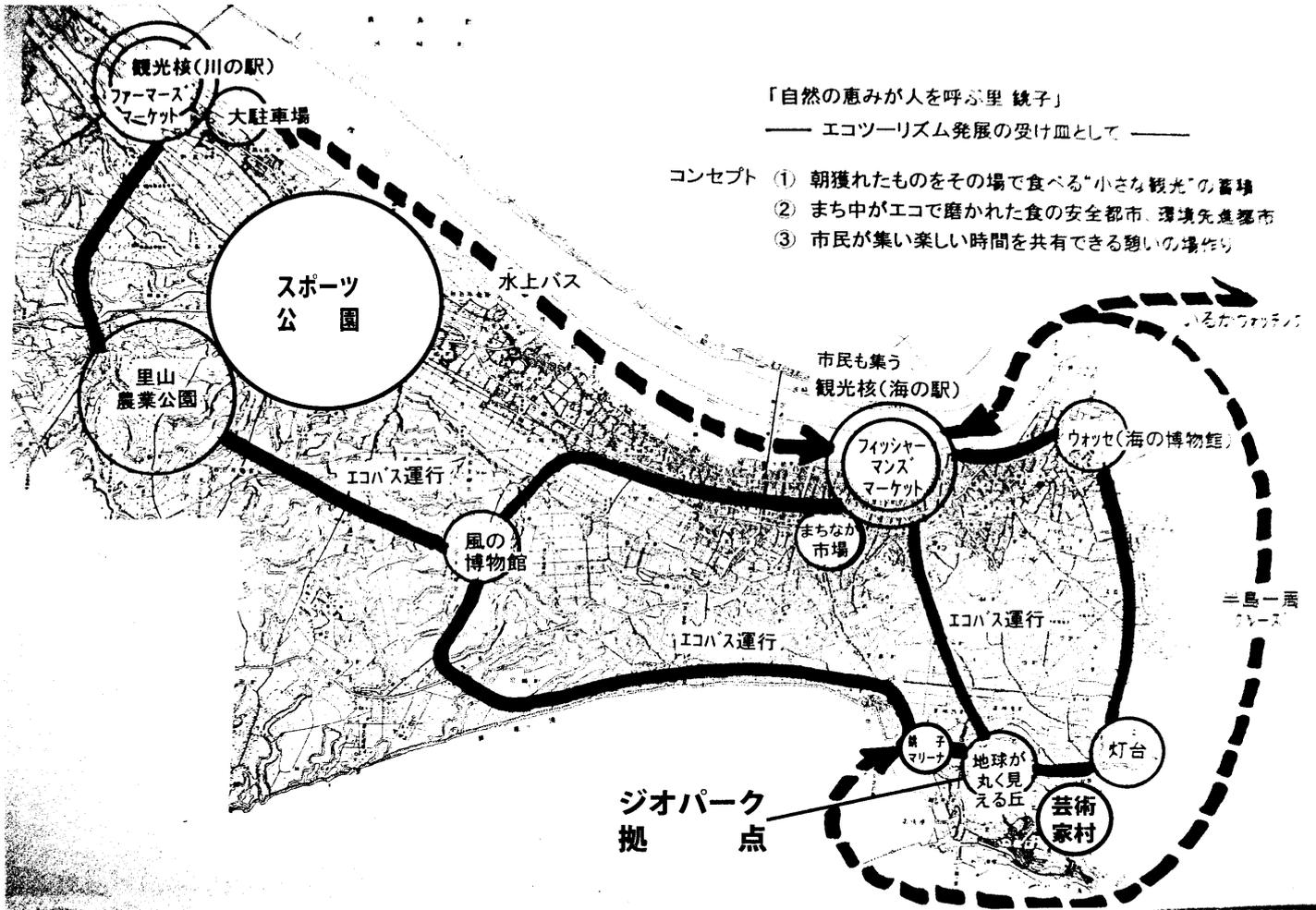
をどう活用するかを協議してまいります。

この芸術家村を進展させながら、銚子半島全域をキャンパスに見立てた「海と大地の芸術祭(銚子アートビエンナーレ)」の開催へと、夢は膨らみます。

「自然の恵みが人を呼ぶ里 銚子」

—— エコツーリズム発展の受け皿として ——

- コンセプト
- ① 朝獲れたものをその場で食べる「小さな観光」の蓄積
 - ② まち中がエコで磨かれた食の安全都市、環境先進都市
 - ③ 市民が集い楽しい時間を共有できる憩いの場作り



第一魚市場整備と フィッシャーマンズマーケット

フィッシャーマンズマーケット(漁師市場)は、第一魚市場をターゲットとして銚子青年会議所が取り組んできた構想です。その核は勇壮な水揚げ風景と本物の産直市場をつくることにあります。住民が愛して止まない店に観光客が遊びに来るのが、本物の観光のあるべき姿だ。魚のまち銚子のシンボルとして「まちなか」に産直市場を据え、住民にも観光客にも愛され親しまれる存在にしたい。生活観光を蓄積し、市民が日頃美味しく食べているものを、観光客に「おすそ分け」する感覚の大切さを訴えています。

第一魚市場は銚子市漁業協同組合が中心となっており、日本ではじめてのマグロ専門の衛生管理型市場として再整備する計画で設計が進んでいます。見学者通路も設置される見込みです。平成27年度内には完成予定で、魚料理や海業(うみぎょう)を学ぶための機能など、活用策も検討されています。第一魚市場の整備を契機として、フィッシャーマンズマーケット構想をもう一度焼き直す必要が

利根かもめ大橋周辺に ファーマーズマーケット

銚子市勢振興調査報告書では「ロス・アンジェルス」のファーマーズマーケットが一つのモデルになろう」と記されています。1934年の世界大恐慌時に18人の農民の露店を1カ所に集めた常設市としてスタートしたファーマーズマーケットは150店舗にまで成長しました。

銚子は全国有数の農業王国です。キャベツ・ダイコン・トウモロコシ・メロン・イチゴ・スイカなど、どれも安心・安全で品質が高い。PFI事業で運営している香取市の「水の郷(さ

あります。観光客に雄大な水揚げを見てもらいたいから、「市民の台所」でもある本物の魚の産直市場で買物をして楽しんでいただく。市民と観光客の「出会いの場」は、生活観光都市の核です。

根川の川の駅橋からは観光船(さつぱ舟)が行き来し人気を呼んでいます。

大駐車場を完備したファーマーズマーケット(川の駅・道の駅)を利根かもめ大橋周辺に整備することは、銚子農業の魅力アップと観光振興に大きなプラスになる。国交省と話し合い、スーパー堤防などの規制をクリアし、合わせて観光船の発着点としての「川の駅」の整備も考えていきます。

水上バス(観光船)の運行

フィッシャーマンズマーケットとファーマーズマーケットをつなぐ水上バス(観光船)の運行についても、漁業者の理解を得ながら検討していきたい。イルカウォッチングの運営ノウハウを生かし、ファーマーズマーケット(利根かもめ大橋)から第一魚市場、さらに外洋へ。海から眺める銚子半島やイルカウォッチングへの接続も可能です。

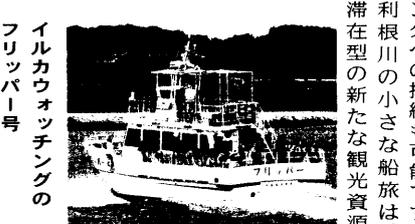
利根川の小さな船旅は、滞在型の新たな観光資源



勇壮な第一魚市場の水揚げ



水の郷さわら



イルカウォッチングのフリッパー号

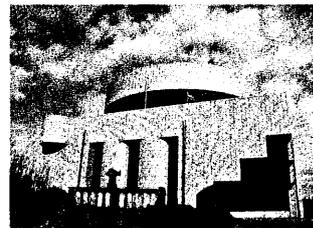
■銚子スポーツ合宿村
神栖市の成功事例を参考に、旧西高校跡地や河川敷を活用し、スポーツ合宿村の可能性を考えてまいります。

■地球の丸く見える丘を
ジオパーク展望館に！
大胆な転換を図り、銚子ジオパークの拠点施設として一新していきたい。

■イルカウォッチングの支援

あしがれの疎開地・銚子！ 地盤・食・人… 安全安心キャンペーン

地震災害に強い地盤（沖積層へちゅうせきそう）13mの銚子、食の安全、人の安全（低い犯罪発生率）。「首都圏の憧れの疎開地」として銚子の安心と安全を発信し、定住者と呼び込む工夫を考え具現化していきます。「銚子は安心」というキャンペーンを張り続けることが大切です。



愛宕山の強固な地盤

「ついのすみか」は銚子へ！農住計画

定年を迎え退職した都会のサラリーマンたちが銚子で農業をしながら別荘生活を楽しむ「銚子農住計画」。農業を指導し、畑も用意する。800万円〜900万円程度の集合住宅（別荘）を用意して、バラエティに富んだ野菜を生産してもらい、出荷の面倒も見る。「安心・安全なまち」を発信し、「つ



高齡化が進む中、医療・介護・福祉そのものが銚子の基幹産業であり、成長産業だという視点に立つて、充実を図ります。

産業としての医療・介護・福祉の充実

◎地元お買い物デー（土曜日）の創設（地域の商業を育てる意識の醸成）
◎門前・軽トラ市、駅前フリーマーケット等の支援

商業振興

いのすみかは銚子へのキャンペーンを展開していきたい。

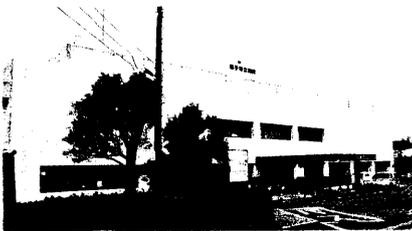
銚子市立病院の健全な再生 まず市長が医師を大切にすることから…

市民」と誹謗中傷されるような銚子には行きたくない。市長が先頭に立つてマイナスのメッセージを全国に発信しては、銚子の評判は下がるばかりです。「銚子に来るな」と言っているようなものです。医師確保を妨げている最大の要因は、人を大切にしない市長の言動にあります。市長のマイナスのメッセージは、全国の医師たちに知れ渡っています。

医師を大切にすると、病院を応援する市民、弱い者いじめをしない市長、異なる意見に心を開いて耳を傾ける市政。まず市長が、医師を大切にすることをメッセージを発し、銚子の信頼を回復することが、医師確保と銚子市立病院再生の第一歩です。

やめていった医師や職員を攻撃することは絶対にしません。再生に必要なお金をしっかりと確保し、病院経営を支えていきます。その上で、病院の経営改善の努力は続けていかなければなりません。再生機構と積極的に情報交換をしながら、「経営改善のために市にできること」を模索します。

公設民営の銚子市立病院は、すべて指定管理者の銚子市立病院再生機構（再生機構）に任せ、市は温かく見守るだけ、という姿勢では、地域医療の難局は突破できません。市と再生機構が車の両輪となって医師確保に努力することが求められます。「再生機構と共に市立病



院をつくる」というスタンスで、再生機構と一体となって市長が先頭に立ち、医師招へいに動きまわります。銚子市民や銚子出身者の人脈をフルに活用し、銚子出身の医師に直接働きかけてまいります。銚子に愛着を持ち、旧銚子市立総合病院時代に働いていた医師にも積極的に働きかけてまいります。白濱龍興院長、落合武徳理事らの人脈と信頼を通じた医師招へいを支援し、旭中央病院との連携強化に誠意を尽くします。

・市外・市内医療機関などの連携
・市民とともにつく
・市民とともにつく
・市民とともにつく

人権と平和を守る市政 市民を傷つける 広報・ブログの是正

■DV防止対策
最後のセーフティネットである生活保護の適正な運用
◎ソーシャルワーカー、ケースワーカーの増員
■統合中学校における交通費補助の平等化
■非核平和都市宣言に基づいた平和教育と平和事業の展開

私たちは、異なった意見を尊重し相互に信頼し合う「対話する政治」を回復しなくてはなりません。権力者は謙虚でなければなりません。
◎地域通貨の活用と支援（犬吠WANの展開）
■情実人事の是正
情実人事は市民不信を招き、職員やる気を減退させる元凶で、厳に慎まなければなりません。本心に公正な人事なのか、情実人事と疑われるような人事ではいけないのか。常に点検が求められます。
◎オトモダチに利益提供しない政治
■財政改革の推進（お金を生み出す改革）
◎下水道事業の見直し
◎学校統合のスピード化
■「つながり」と「支え合い」の市政
◎行政が市民にアプローチする、寄り添う市政への転換
◎高齢者の見守り、独居老人対策
◎国保会計の健全化
◎近隣に比べ高い国保料の適正化、徴集率の改善
◎子育て支援と福祉のまちづくり
■生活環境の整備
◎市営住宅の整備・環境改善

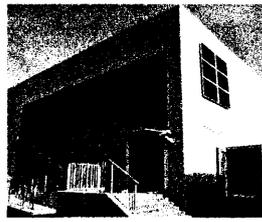
「大胆引き眉の女性議員が私の発音を詰問した」と女性の容姿を揶揄し、海外派遣研修に参加した中学生に向かって「君たちは無知だが、それを自覚しただけ賢い」と冷たい言葉を投げつける『広報ちやうし』の『市長のつぶやき』は異常です。税金を投入している市の広報を使って、市長みずから人が傷つけるような行為は許せません。
弱い者いじめをしない、市民の人権を守る正常な市政を取り戻します。
■自殺防止対策
■いじめ防止対策

◎「ミゼロ運動の展開と改善」
◎「ミゼロ運動の展開と改善」
◎「ミゼロ運動の展開と改善」

◎「ミゼロ運動の展開と改善」
◎「ミゼロ運動の展開と改善」
◎「ミゼロ運動の展開と改善」

ムダ使いはしません！ 消防庁舎の移転は高台に！ 市役所の新築も再検討します

利根川に面した大橋町に建設された学校給食センター！



銚子市役所庁舎と消防庁舎（新生町）を現在の銚子市役所南側駐車場に移転・新築する検討方針が発表されました。市役所庁舎は新築の場合も50億円、耐震改修でも42億円かかる内容です。また、銚子中学校（現銚子四中）の「緊急高台移転」も表明されました。銚子中学校を高台移転して、なぜ、防災の要となる消防庁舎を津波の危険性の高い市役所敷地に整備するのでしょうか？市民感覚では理解できない整合

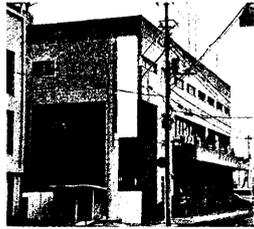
津波の恐怖を感じずにはいられない銚子市
学校給食センターの立地。消防庁舎は津波
の危険のない高台に移転すべきでは…



性のなさに驚いています。新学校給食センターの異常な立地については、多くの市民が唖然としました。利根川に面した大橋町の民有地を購入して、しかも一昨年の東日本大震災以降に銚子市学校給食センターを建設したことは、私には考えられないことでした。全国各地で大震災を踏まえた公共施設の高台移転が進む中、「あんな場所に本当に給食センターを建てるの？」と多くの市民が驚きました。津波の恐怖。津波が

襲ってきた時に従業員の安全は守れるのか、震災時の炊き出しができるのか。大震災を踏まえた冷静な判断があれば建設地は変更すべきでした。その反省を踏まえ、少なくとも消防庁舎は津波の危険のない高台（警察と連携できる三崎団地など）に候補地を変更すべきです。

市民生活が疲弊する中で、ハコモノづくりは正しい判断で慎重に行なわなければなりません。市役所庁舎の整備についても、本当に耐震改修で42億円もの事業費がかかるのか精査する必要があります。新築する場合でも、面積を大幅に縮小するなど、最小の経費で建て替えてできる、簡素で機能的な庁舎であるべきです。



銚子市役所敷地に移転が検討されている消防庁舎



建て替えが検討されている銚子市役所庁舎

近隣のサービ
ス格差是正

銚子市から神栖市などへ転出する大きな理由が子どもの医療費・入院費、助成などの子育て支援、高額な国民健康保険料などです。厳しい財政状況の中で、難しい課題ではありますが、近隣市とのサービスマズ格差是正に取り組みでいかなければなりません。

襲つてきた時に従業員の安全は守れるのか、震災時の炊き出しができるのか。大震災を踏まえた冷静な判断があれば建設地は変更すべきでした。その反省を踏まえ、少なくとも消防庁舎は津波の危険のない高台（警察と連携できる三崎団地など）に候補地を変更すべきです。

対話集会開催中！

各町内青年館などで、対話集会を開催しています。ご希望の方は、事務所（☎30-3615）までお気軽にお申し込み下さい。

対話集会の主な日程（予定）

- 2月17日（日）10時 豊里台青年館
- 2月20日（水）18時30分 西部集会場（芦崎・高田）
- 2月25日（月）18時30分 猿田町青年館
- 2月26日（火）18時30分 清川町青年館
- 2月27日（水）18時30分 春日町青年館
- 2月28日（木）18時30分 上野町第1青年館
- 3月1日（金）18時30分 春日台青年館
- 3月2日（土）16時 上野町第2青年館
- 3月3日（日）18時30分 海上コミセン
- 3月4日（月）18時30分 明神青年館
- 3月5日（火）18時30分 豊岡出張所
- 3月7日（木）18時30分 犬吠埼中央青年館
- 3月9日（土）15時 外川青年館（外川4丁目）
- 3月10日（日）15時 長崎青年館

決起大会のご案内！

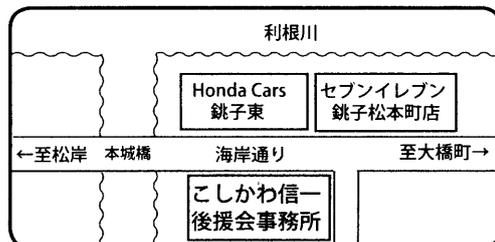
銚子市政の立て直しをめざして、決起大会を開催します。奮ってご参加下さい。

- 日時 3月17日（日）
午後2時30分開場、3時開始
- 会場 銚子プラザホテル
- 参加費 1,000円
- お問い合わせ ☎30-3615

後援会事務所開き

3月2日（土）午前11時～

銚子市松本町に事務所を開設しました。お気軽にお立ち寄り下さい。



〒288-0802 銚子市松本町3-2-26
TEL 0479-30-3615
FAX 0479-30-3616

【越川信一 略歴】

- ◆昭和36年11月19日生まれ
- ◆春日小学校、銚子四中、市立銚子高校卒
- ◆昭和56年 慶応義塾大学経済学部入学
- ・社会保障論・生活構造論専攻
- ・58年 同新聞研究所入所（現メディアコミュニケーション研究所）
- ◆昭和60年 慶応義塾大学卒業、㈱日本リース入社
- ◆昭和62年 ㈱日本リース退社、大衆日報社入社
- ◆平成19年5月～ 銚子市議会議員
- ◆元銚子青年会議所理事長（平成9年、銚子市子ども議会開催）
- ◆元銚子商工会議所青年部理事
- ◆元市立銚子高校保護者部会長、後援会副会長、学校評議員
- ◆元銚子市立春日小学校PTA会長
- ◆元銚子市広報広聴協議会委員
- ◆銚子市立第四中学校PTA会長